

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 16 号

第 16 週 ( 4月16日 ~ 4月22日 )

発行年月日:平成19年(2007年) 4月27日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

**感染性胃腸炎の発生は増加傾向！**  
**感染症法の一部改正に基づく感染症分類の変更**

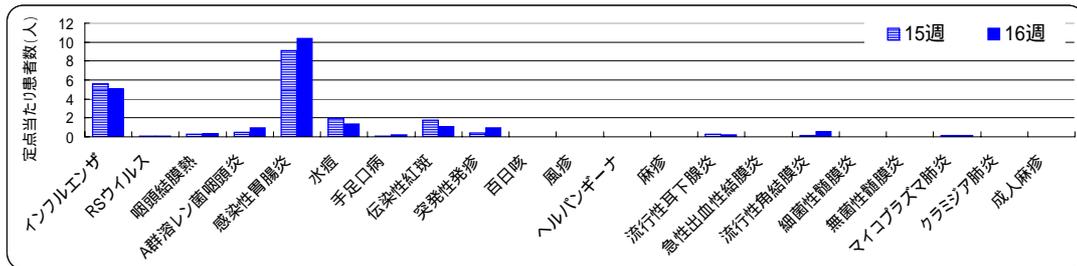
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第15週(4月9日～4月15日)の報告数とほぼ同じです先週より増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発疹等で、減少した疾患はインフルエンザ、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、草津および甲賀保健所管内における伝染性紅斑に警報が発生しています。

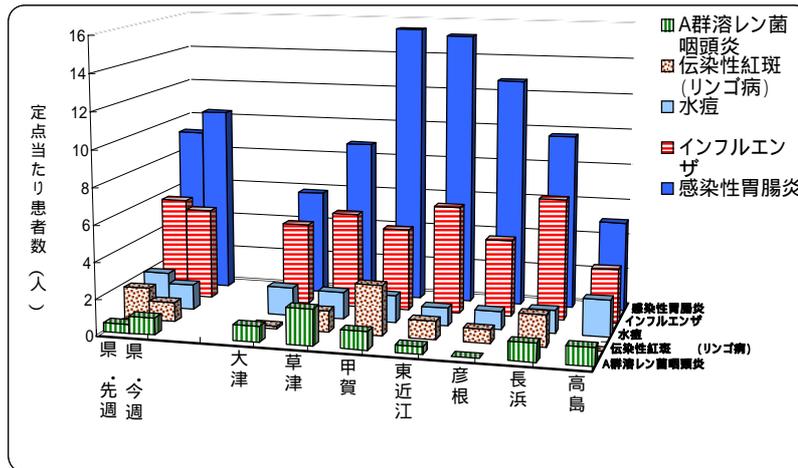
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核 10名および五類感染症のアメーバ赤痢 2名の届出がありました。

また、平成19年4月1日から感染症法の一部改正が施行され、それに伴い感染症分類が変更されています。

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第16週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっており先週と同じです。  
感染性胃腸炎は草津、甲賀、東近江および彦根で先週より増加し、特に彦根で急増しています。

#### 伝染性紅斑(リンゴ病)の警報発生状況(平成19年第13～16週、H19.3.26～H19.4.22)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数							
13週	0.91	0.43	0.67	2.25	0.80	1.25	0.50	1.00
14週	1.22	0.29	2.50	1.50	1.40	0.75	1.00	1.00
15週	1.78	0.43	2.67	5.25	0.80	1.25	1.00	2.00
16週	1.06	0.14	1.17	2.75	1.00	0.75	1.75	0

：警報発生中 警報発生基準値：定点当たり患者数が2人以上という基準値を超えた時に出され、それ以降、定点当たり患者数が1人未満になるまで継続して出されます。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (16週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (16週)	全国 (16週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	10	14	555	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	3	1	47
	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 1	159	<sup>(*)3</sup> 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	208	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	18	2	70
	A型肝炎	0	0	51	21	316
	レジオネラ症	0	1	109	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	2	5	221	8	738
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	50	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	33	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	3	373	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	13	1	87
	梅毒	0	0	140	4	625
	破傷風	0	0	16	1	115
	急性脳炎	0	1	66	1	160

\*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分です。

\*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第16週(4/16～4/22) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 17例
二類感染症: 結核 154例	A型肝炎 2例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
三類感染症: 細菌性赤痢 12例	デング熱 3例	ウイルス性肝炎 1例
腸チフス 1例	レジオネラ症 5例	
パラチフス 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 9例	
腸管出血性大腸菌感染症 15例	梅毒 5例	
	急性脳炎 1例	

\* 感染症法の一部改正により結核は二類感染症、細菌性赤痢は三類感染症となっています。

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第11～16週、3/12～4/22)

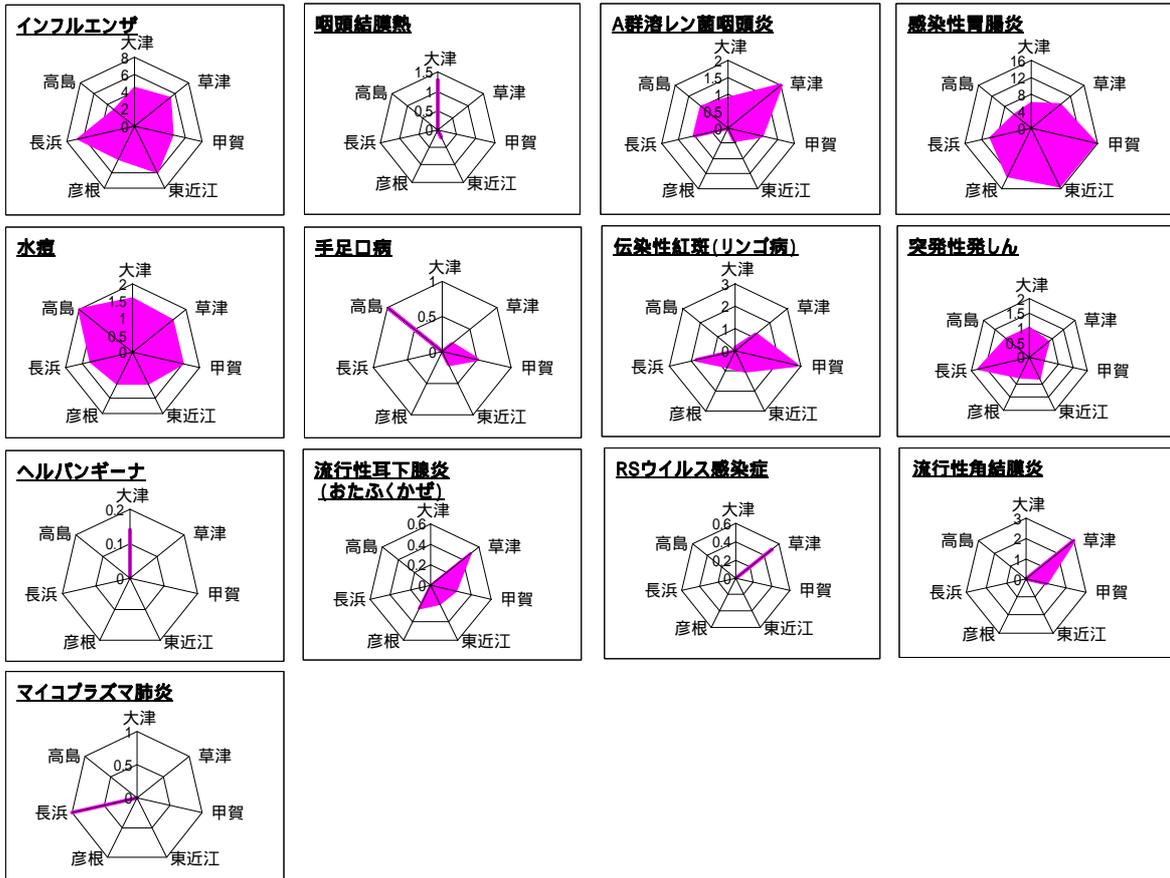
疾患名	定点当たり患者数										
	前週より増加					前週と同じ		前週より減少			
	11週 (3/12～)	12週 (3/19～)	13週 (3/26～)	14週 (4/2～)	15週 (4/9～)	16週 (4/16～)	12	13	14	15	16
インフルエンザ	32.60	37.77	21.72	8.30	5.60	5.08					
RSウイルス感染症	0	0.03	0.06	0.13	0.06	0.09					
咽頭結膜熱	0.03	0.06	0.19	0.13	0.28	0.31					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.78	0.69	0.31	0.63	0.47	0.94					
感染性胃腸炎	5.97	5.09	6.53	7.81	9.13	10.38					
水痘	2.50	1.97	1.06	1.41	1.97	1.38					
手足口病	0	0.13	0.13	0.06	0.09	0.19					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.53	0.63	0.91	1.22	1.78	1.06					
突発性発しん	0.31	0.25	0.44	0.47	0.38	0.94					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0	0	0.03	0	0.03	0.03					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0.03	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.44	0.31	0.63	0.25	0.19					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.57					
細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0.14	0.14	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第16週, 4/16~4/22)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	5.08	4.55	5.30	4.57	6.00	4.29	6.71	3.00	
RSウイルス感染症	0.09	0	0.50	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.31	1.29	0	0	0.20	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.94	0.86	2.00	1.00	0.40	0	1.00	1.00	
感染性胃腸炎	10.38	5.86	8.83	15.50	15.20	12.75	9.75	5.00	
水痘	1.38	1.57	1.50	1.50	1.00	1.00	1.25	2.00	
手足口病	0.19	0	0.17	0.50	0.20	0	0	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	1.06	0.14	1.17	2.75	1.00	0.75	1.75	0	
突発性発しん	0.94	1.00	0.83	0.50	0.80	0.75	1.75	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0	0.50	0.25	0.20	0.25	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0	3.00	1.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加    
 ■ は警報発生中    
 ■ は注意報発生中    
 0 2 4 6 8 10 12  
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

- インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は5.08となり4週連続して減少していますが、大津、草津および高島では先週よりやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----彦根で先週より急増し、定点当たり患者数は12.75となっています。また、草津、甲賀および東近江では先週に引き続き多くっており、定点当たり患者数はそれぞれ8.83、15.50、15.20となっています。
- 伝染性紅斑-----先週警報が発生していた高島からの報告はありません。草津および甲賀では先週に引き続き警報が発生しています。また、甲賀では先週よりかなり減少していますが、定点当たり患者数は2.75と多い状態が続いています。

# 感染症法の一部改正に基づく感染症分類

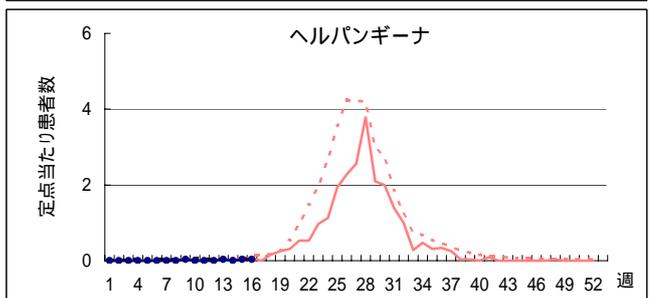
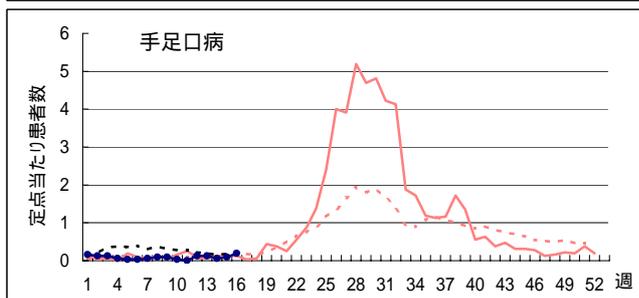
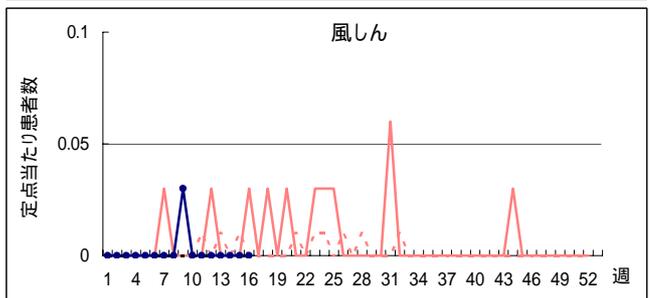
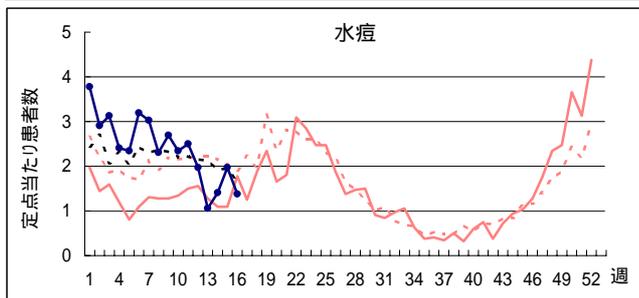
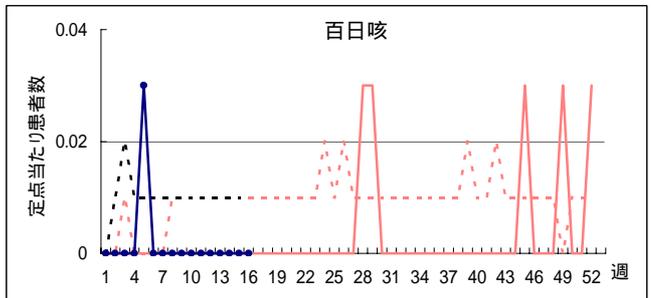
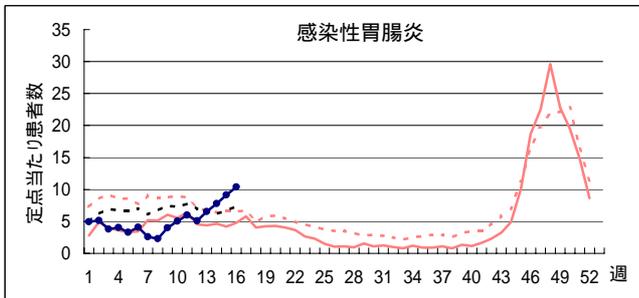
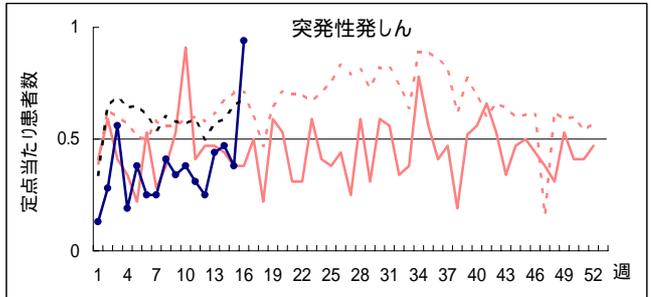
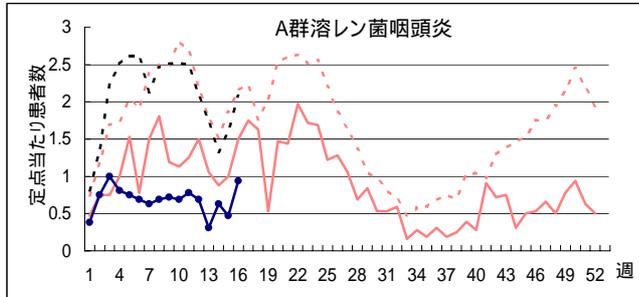
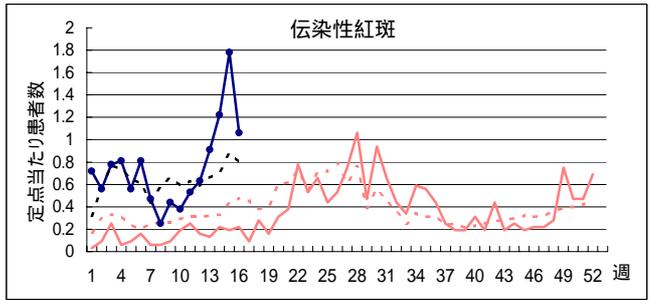
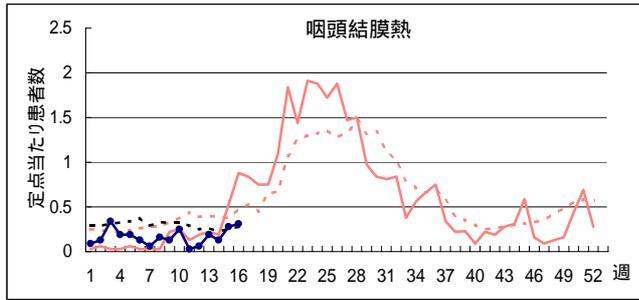
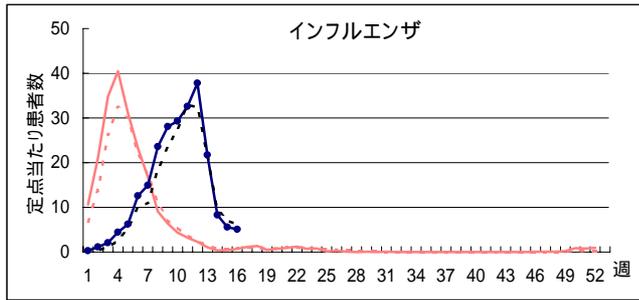
- 2006年12月8日公布、2007年4月1日施行 -

分類	改正内容	疾患名	分類	改正内容	疾患名	
一類 (全数)		エボラ出血熱	五類 (全数)		アメーバ赤痢	
		クリミア・コンゴ出血熱			ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)	
		痘そう			急性脳炎 **	
	新たに追加	南米出血熱			クリプトスポリジウム症	
		ペスト			クロイツフェルト・ヤコブ病	
	マールブルグ病			劇症型溶血性レンサ球菌感染症		
	ラッサ熱			後天性免疫不全症候群		
二類 (全数)	新たに追加	急性灰白髄炎			ジアルジア症	
		結核			髄膜炎菌性髄膜炎	
		ジフテリア			先天性風疹症候群	
三類 (全数)	1類 2類	重症急性呼吸器症候群 *			梅毒	
	2類 3類	コレラ			破傷風	
	"	細菌性赤痢			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
		腸管出血性大腸菌感染症			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	
四類 (全数)	2類 3類	腸チフス		五類 (定点)		インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)
	"	パラチフス			咽頭結膜熱	
		E型肝炎			A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	
		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)			感染性胃腸炎	
		A型肝炎			水痘	
		エキノコックス症			手足口病	
		黄熱			伝染性紅斑	
		オウム病			突発性発しん	
	新たに追加	オムスク出血熱			百日咳	
		回帰熱			風しん	
	新たに追加	キャサナル森林熱			ヘルパンギーナ	
		Q熱			麻しん(成人麻しんを除く)	
		狂犬病			流行性耳下腺炎	
		コクシジオイデス症			RSウイルス感染症	
		サル痘			急性出血性結膜炎	
		腎症候性出血熱			流行性角結膜炎	
	新たに追加	西部ウマ脳炎			細菌性髄膜炎	
	新たに追加	ダニ媒介脳炎			無菌性髄膜炎	
		炭疽			マイコプラズマ肺炎	
		ツツガムシ病			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	
		デング熱			成人麻しん	
	新たに追加	東部ウマ脳炎			性器クラミジア感染症	
		鳥インフルエンザ			性器ヘルペスウイルス感染症	
		ニパウイルス感染症			尖圭コンジローマ	
		日本紅斑熱			淋菌感染症	
		日本脳炎			メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
		ハンタウイルス肺症候群			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	
		Bウイルス病			薬剤耐性緑膿菌感染症	
	新たに追加	鼻疽	指定感染症			インフルエンザ(H5N1) ***
		ブルセラ症				
	新たに追加	ベネズエラウマ脳炎				
	新たに追加	ヘンドラウイルス感染症				
		発しんチフス				
		ポツリヌス症				
	マラリア					
	野兔病					
	ライム病					
	リッサウイルス感染症					
新たに追加	リフトバレー熱					
新たに追加	類鼻疽					
	レジオネラ症					
	レプトスピラ症					
新たに追加	ロッキー山紅斑熱					

改正内容が空白の感染症については変更なし

- \*: 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。
- \*\* : ウエストナイル脳炎、日本脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、ベネズエラウマ脳炎を除く。
- \*\*\* : H1N1、H2N2、H3N2亜型を除く。

# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第16週、H19.1.1～H19.4.22)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第16週、H19.1.1～H19.4.22)

H18  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

H19  
 〔 滋賀 ●●●●●  
     全国 - - - - -

